

この注文書でのご注文は返品条件付き注文扱いで出荷します

●人文 (世界史) ご担当者さま

# 日経書評[8/2]で大反響

中でも筆が割かれているのは、革命派と反革命派の双方による蛮行の数々だ。それは人間が人間にどこまで残酷になれるかの見本市のようで、読後感は清涼とはいえない。しかし、その蛮行の中にこそ、今もロシアが抱える問題が浮かび上がる。

麻田雅文氏、日本経済新聞 8月2日

## 革命と内戦のロシア 1917-21 (上・下)



アントニー・ビーヴァー 著／染谷徹 訳

二月革命から、十月革命、反革命派の抵抗と軍事衝突、赤軍と白軍の内戦、欧米や日本の軍事介入、虐殺と報復の連鎖、大規模なポグロムまで、物語性と学術性を兼ね備えた決定版。ロシアの内戦は、中央集権主義と地方主義の対立、権威主義と自由主義の抗争などが関係し、「凝縮された世界戦争」とも言うべき戦闘だった。

貴店印	希望数	ISBN978-4-560-	書名	本体価格
ご担当 様		09163-0	革命と内戦のロシア 1917-21 (上) 【重版出来】	3,900 円
		09164-7	革命と内戦のロシア 1917-21 (下)	3,900 円



(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811

FAX 03-3291-8448 (備考 2-20)